

令和2年2月21日

保護者の皆様

仙台市立八本松小学校  
校長 我妻 良行

## 令和元年度 協働型学校評価「我が家の重点目標」の取組について（お知らせ）

早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

つきましては、ご多用とは存じますが、ぜひお読みいただき、学校・保護者・地域の連携を更に深めるための一助としていただければと思います。なお、今年度の協働型学校評価につきましては、学校関係者評価委員会の場において、委員の皆様から大変貴重なご意見、ご感想を頂戴いたしました。今後とも本校の協働型学校評価「我が家の重点目標」の取組に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### 1 本校の協働型学校評価重点目標について

### 言葉でつながる学校・家庭・地域の輪 ～言葉を大切にしたコミュニケーションを目指して～

#### 2 成果の検証方法及び我が家の重点目標の達成度について

##### ・アンケート回収率

学年・学級間での差は認められましたが、全校で97%という高い回収率になりました。多くのご家庭でしっかりと重点目標を設定していただき、取組への関心の高さをうかがうことができました。

##### ・取組の成果（詳細は別紙参照）

保護者及び児童の方の「よく当てはまる」及び「当てはまる」の肯定的評価を合計すると、「我が家の重点目標を達成できた」ことについては、全体として約80%程度となり、取組に一定の成果が見られました。また、ご家庭で保護者の方とお子さんとのコミュニケーションを図りながら取り組んでいただいたことで、お子さんや保護者の皆様の協働型学校評価重点目標に対する意識を高めることができました。

##### ・学校職員及び学校関係者評価委員からの報告

学校及び各学年・学級で目指すべき子どもたちの姿とそのための手立てを具体的に設定して取り組んだことで、子どもたちの変容を検証できました。

また、学校関係者評価委員会の場において「様々な子供たちがいる中で、約8割を達成できれば非常に満足である」「言葉を大切にしたコミュニケーションを図る取組がとても興味深く参考になった」などのご意見をいただきました。

#### 3 今後の課題

日常の声掛けは必要ですが、それだけでは効果が上がらないこともあり、学級や学年の実態、子どもたちの成長の度合いに応じて、より具体的で効果的な手立てを探っていく必要があると思います。

また、言葉を大切にしたコミュニケーションをご家庭で取り組んでいただいた結果、保護者の方々の気付きが感想の中にたくさんありました。

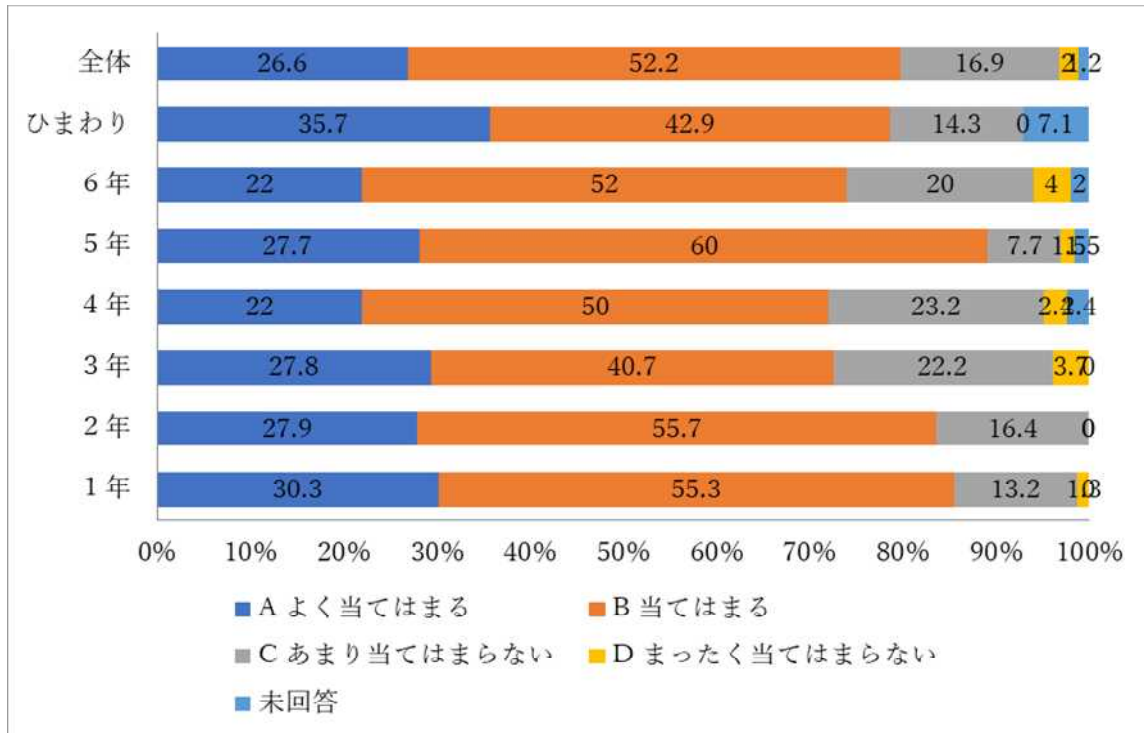
来年度は、今年度の課題を検証し、学校支援地域本部事業を含めた全ての教育活動を通して、各ご家庭における『我が家の重点目標』の実施及び地域の方々との協働・連携による取組を継続し、さらなる児童の変容を目指していききたいと思います。

※ 本日、冬休みに取り組んでいただきました、「我が家の重点目標振り返りアンケート」を返却しました。今後の取組の参考にしていただけると幸いです。

# 令和元年度「我が家の重点目標」の取組のまとめ

取組期間 令和元年12月15日(水)～令和2年1月7日(火) アンケート対象 全児童(保護者)

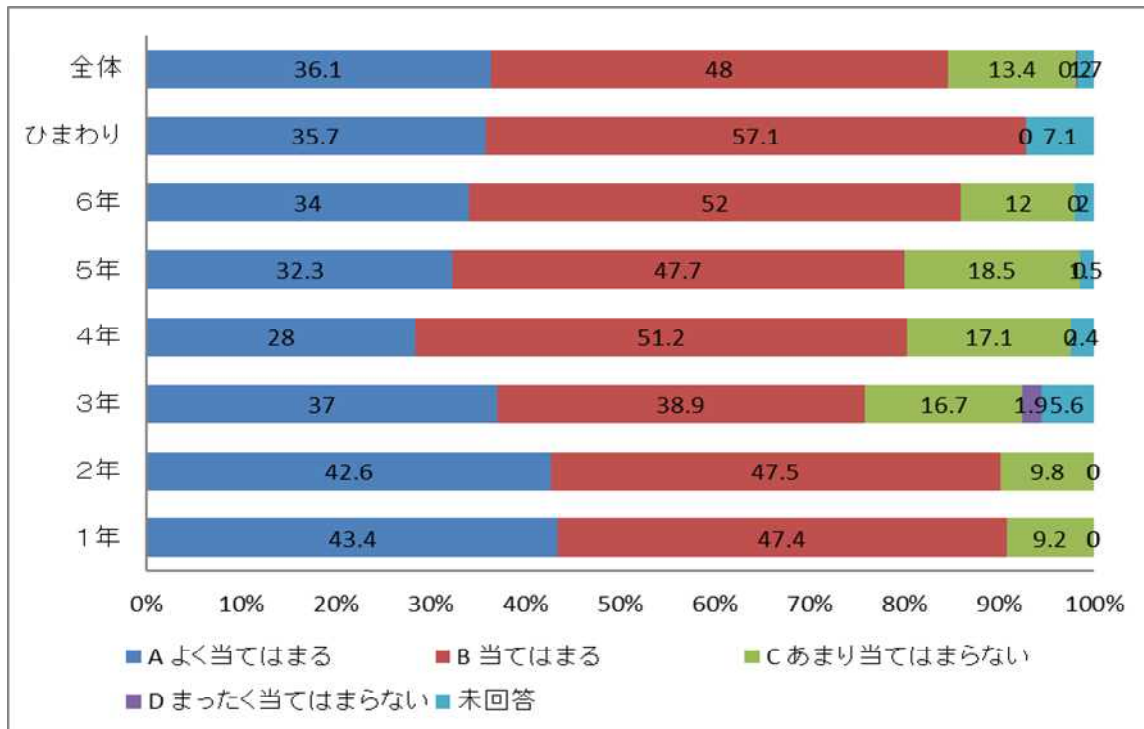
質問1 「我が家の重点目標」を達成することができた。



## <考察>

保護者及び児童の78.8%（「よく当てはまる」「当てはまる」の合計）が「我が家の重点目標」を概ね達成することができたと答えている。中学年頃から取組状況が低くなる傾向にある。ただし、今回の取組状況調査において第5学年の児童(保護者)の87.7%が取り組んでいることは特徴的である。

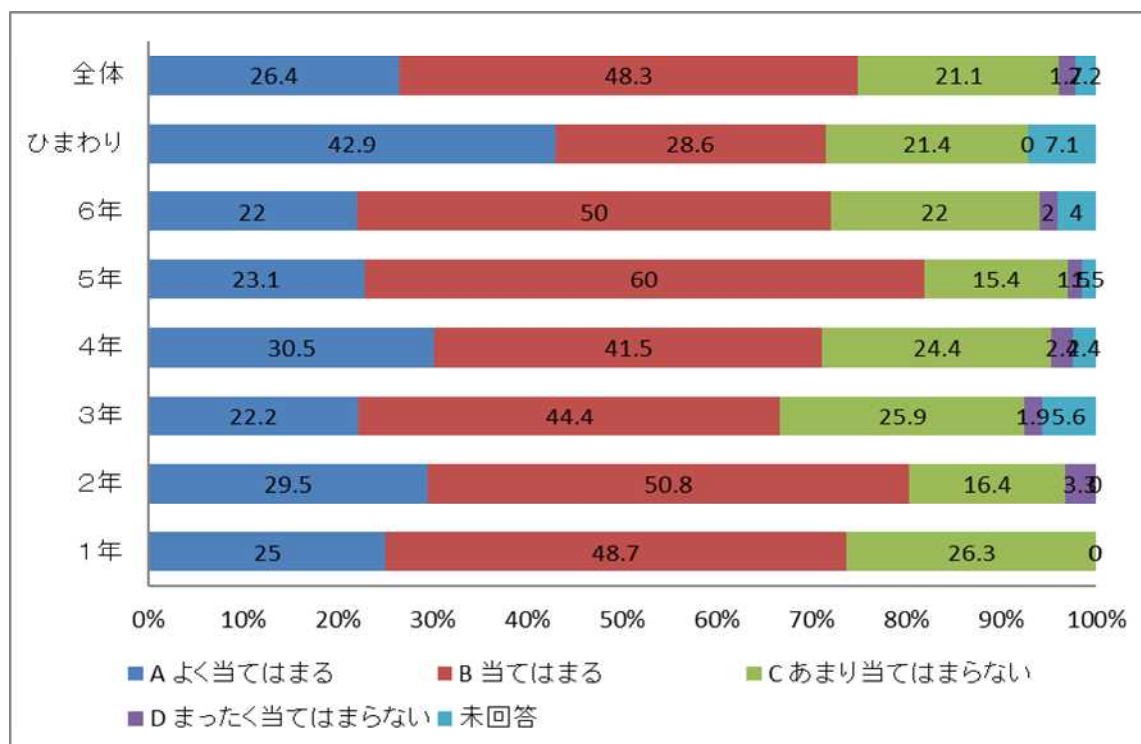
質問2 お子さんは、自分の思いや考えを相手に伝えている。



## <考察>

保護者の84.1%が「子どもは、自分の思いや考えを相手に伝えている」と答えている。一方、中学年以降、「あまり当てはまらない」「まったく当てはまらない」と答える児童が増えていく傾向にあるので、学校や家庭で話を聞く場や話しやすい雰囲気を意識的につくる必要がある。

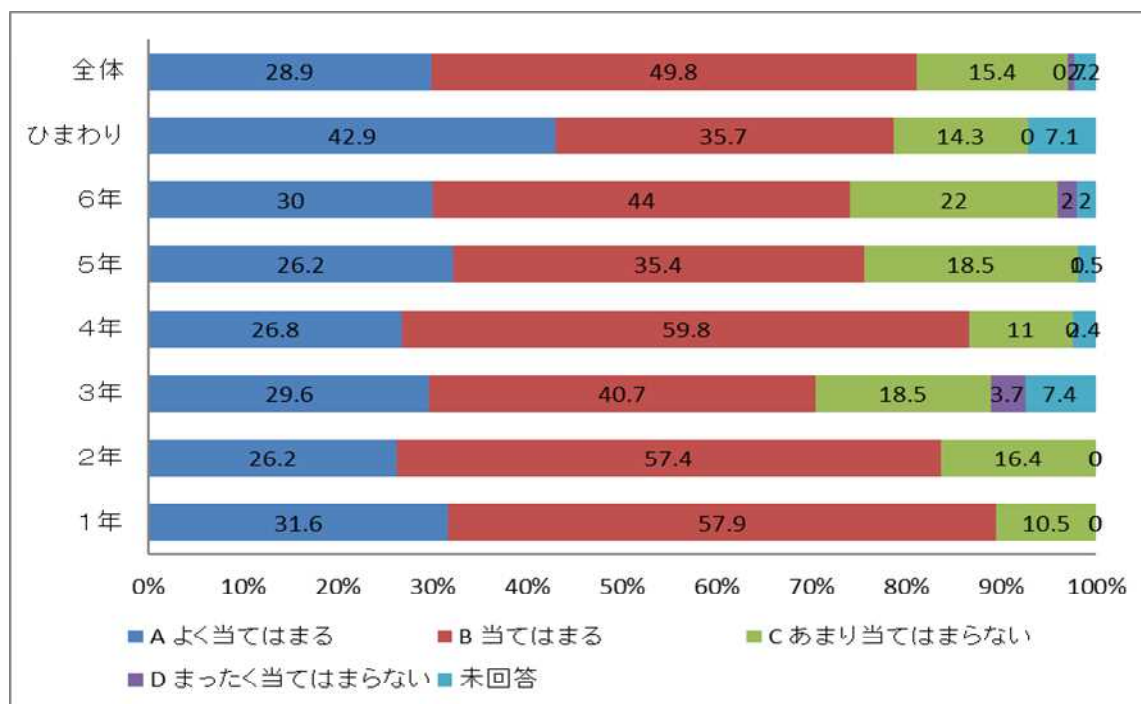
質問3 お子さんは、人の話をよく聞いている。



<考察>

保護者の74.7%が「子どもは、人の話をよく聞いている」と答えている。一方、全学年においてほぼ一定の割合の保護者が「あまり当てはまらない」「まったく当てはまらない」と答えている。また、「自分の思いや考えを相手に伝えている(84.1%)」との回答と9.4ポイントの差がある。人の話を落ち着いて聞く態度にやや課題が見られると考える。

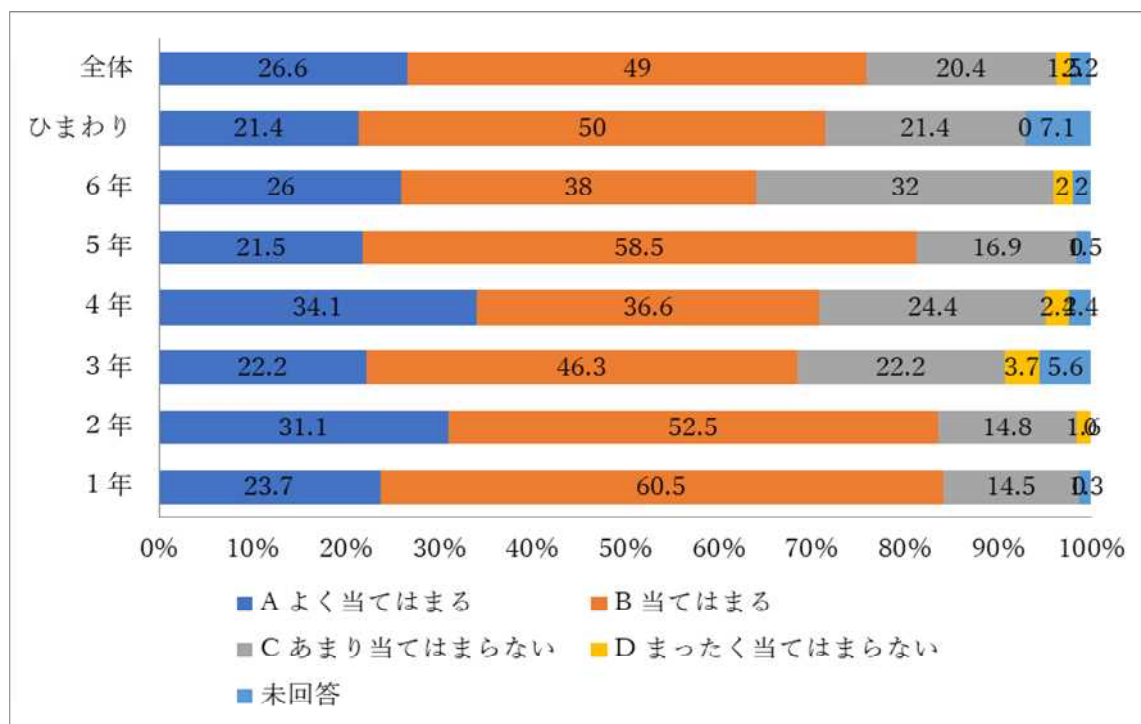
質問4 お子さんは、気持ちの良い挨拶を進んでしている。



<考察>

保護者の78.7%が概ね「子どもは、気持ちの良い挨拶を進んでしている」と答えている。質問方法の変更があったが、昨年度の89%と比べると10.3ポイント低くなっているため、今後とも児童が主体的に活動できるよう「あいさつ運動」等の取組の改善をしていく必要がある。

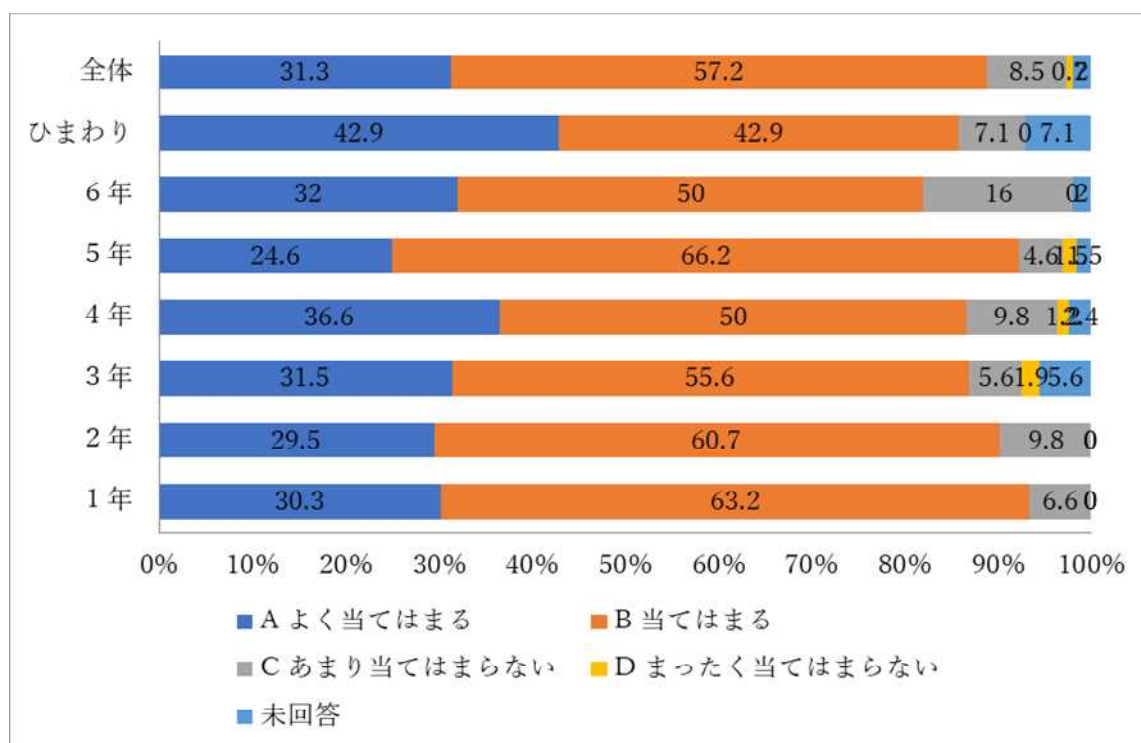
質問5 お子さんは、相手を思いやった言葉遣いをしている。



<考察>

保護者の75.6%が「子どもは、相手を思いやった言葉遣いをしている」と答えている。低学年では、約80%以上の児童が「子どもは、相手を思いやった言葉遣いをしている」と答えているが、中・高学年になるに従って、相手を思いやった言葉遣いに課題がみられる。道徳や学級活動等を通して、相手を思いやる児童の育成に取り組んでいきたい。

質問6 家庭では、お子さんの話をよく聞いている。



<考察>

保護者の88.5%が「家庭で、子どもの話をよく聞いている」と答えている。「我が家の振り返りアンケート」に取り組んでみての感想の中にも、子どもの話をじっくり聞く機会をつくることや子どもと向き合うことを大切にしたいという感想が多く寄せられた。今後も、児童の自己有用感や自己肯定感を高めるため、言葉を大切にコミュニケーションが家庭や地域にも広がることを期待している。

ご家庭で取り組んでみての感想やお子さんに取り組ませたいことなどをご記入いただきましたが、主な感想をご紹介します。今後の取組の参考にさせていただけると幸いです。

#### 【ひまわり学級】

- ◇ 改めて言葉のコミュニケーションを大切にしようと思いました。忙しい毎日ですが、手を止め、子供の顔を見て、話をすることを大切にしようと思います。
- ◇ よく自分から日々話をしてくれるものの、自分では話を聞いているつもりになっていたけれど、しっかり向き合って話をした今回、いかに日々子供たちの話に耳を傾けていないか痛感しました。今後も意識して子供達と話をする時間を設けていきたいと思います。

#### 【1年】

- ◇ 時間に余裕のある冬休みだったので、家族でたくさん話すことができました。休みが終わっても、毎日10分、20分でもお茶タイムを持たせたいと思います。
- ◇ テレビを消して皆で話した時間はとても良かったです。いつもの寝る前の反省会で家族皆が話すことで、子供のぐちも少し減った様な気がします。これからは話を聞きながら、言葉遣いも一緒に直していけるといいです。
- ◇ 食事に集中するようになり、会話もより多くできたと思います。夕食時だけでなく、朝食・昼食中もテレビは見ないように自ら動くようになりました。今後も続けていきたいと思います。
- ◇ 9連休と思っていてもあつという間に時間は過ぎてしまいます。我が家の重点目標を設定したことで意識的に会話の時間が持てたように思います。ありがとうございました。
- ◇ 「話をよく聞きなさい」と言っていますが、取り組んでみると、大人(親)もよく聞いていないことが多いと思いました。お互い、よく相手の話が聞けるようにしたいです。
- ◇ 家事をしながら等、親の方ができていなかったことに気付かされました。顔をお互い見ながら話をすることで、聞き返す回数も減り、伝わりやすくなったことを感じました。これからも続けていきたいと思います。

#### 【2年】

- ◇ 1日のできごとをたくさん話す習慣ができました。また、食事の際の挨拶も進んで行き、言葉を大切にコミュニケーションを取れました。今後とも言葉により自身の気持ちを伝える大切さを一緒に学んでいきます。
- ◇ 改めて日々の出来事を話し合うことで、子供の考えや思っていることも聞けて良かったです。親からも同様に話すことで、子供も興味を持って聞いていました。今後も続けていきたいです。
- ◇ 挨拶を心掛けることで、より気持ちの良い雰囲気作りができたように感じました。ただ、お互いの話をゆっくり聞いたり話したりする時間をもっと意識的に取れるようになると良いのかなと振り返りアンケートをしてみました。
- ◇ 朝・昼は、テレビを見なくても食事をし、楽しく会話することができたが、夜は、難しい時が多かった。テレビの生活に慣れているため、「テレビは？」と聞かれることも多かったので、なるべくテレビ・スマホの時間を少なくできるような声掛けをしていきたいと感じた。

#### 【3年】

- ◇ 自分から進んで元気に挨拶することができたので良かったです。今後は「あいさつプラスワン」を心掛けていきたいです。
- ◇ 冬休み中に家族そろって話す機会が多く良かったと思う。自分も含めポジティブな表現・言葉になるよう心掛けたい。(「～してくれるとうれしい。」「～になると楽しい。」「～できたらすごい！」などの明るい声掛け)
- ◇ 「話をよく聞きなさい」と繰り返し子供に言っていますが、取り組んでみると、大人(親)も良く話を聞いていなかったと思いました。子供も大人もお互いに相手の話を聞くことを心掛けたいです。
- ◇ その都度、声を掛けましたが、自主的に「ふわふわ言葉」を使うことはできませんでした。コミュニケーションを取るうえで大切なことですので、続けて取り組んでいきます。

#### 【4年】

- ◇ 朝1番の挨拶は生活の基本です。起きたら「おはよう！」それだけで気持ちの良い1日になるはずでしたが難しい!!今後も引き続きまずはあいさつ!「してみせて、言って聞かせて、させてみる」家族で頑張りたいと思います。

- ◇ 父親に今日のできごとを話すと父親が笑顔になるので、本人も笑顔で喜んでいたので微笑ましかったです。宿題のようなつもりでしたが、お陰で毎日恥ずかしがらずに楽しい会話ができました。今後も続けてほしいです。
- ◇ 仕事をしているので、どうしても時間に追われゆっくり話をするのが難しいと思いましたが、子供がどんな風に話したり考えたりしているのか分かって成長を感じました。これからもできるだけ続けていけたらと思います
- ◇ 夕食時にいろいろ話を聞きました。自分の思いを言わずに我慢したりする所があるので、何でも話しやすい環境作りをしていきたいと思いました。
- ◇ 毎日、元気に挨拶ができていました。自分の考えや気持ちを相手の考え、気持ちを聞いた中で自分なりに考え、相手に伝えることができるように少しずつなってきたかなと思いました。言葉の意味や使い方に興味を持ってきたようです。
- ◇ お手伝いを通じて、「今日はこれをやったよ！」という報告や「ありがとう」というお礼の言葉などのコミュニケーションを取ることができました。とても良いコミュニケーションの機会になったと思います。

#### 【5年】

- ◇ 目標があると計画して取り組んだり、考えたりすることが増えるので良いと思います。我が家では、毎年新年と新しい学年に上がる時に目標を掲げ、前期・後期でできているか確認しています。今年も課題、目標に取り組ませます。
- ◇ 親子そろって熱くなることがあるので、まずは親の私達から気を付けて冷静に話をするよう努めました。すると思いを今まで以上に伝えてくれるようになってきました。親の姿は本当に大切だと実感しています。
- ◇ 感情のコントロールをすることができるようになった分、その場で我慢したストレスを話すことによって解消することができた。どうすれば相手に伝わるか気持ち良く過ごせるか話し合う機会が増えました。
- ◇ なかなか自分の思いや考え(特に思っている方)を言えない性格だと思います。忙しいとゆっくり話を聞けないときもあるので、私達親も聞く姿勢を大切にしたいと思います。

#### 【6年】

- ◇ 親も子供と一緒にニュースを見たり、新聞を読んだりするよう心掛けたいと思います。そういう時間を大事にしてこれからも取り組んでいきたいです。
- ◇ 多感な時期であることでお互い伝えたいことが一方通行なことも多いのですが、必ず気持ちは通じていると強く信じ、この複雑な思春期を乗り越え、末長く笑い合える親子でいられるよう常に信じて、認めて、任せていきたいと思います。
- ◇ 親から声掛けすることが大切だと感じました。今後も親から積極的に声掛けしていきたいと思います。相手を思いやる気持ちや態度も親の姿で変わることがあるかと思っていますので、意識して言動、態度に注意したいと感じました。
- ◇ 挨拶を心掛けて子供から積極的にすることで、家族が気持ち良く生活できるようになったと思います。これからは言葉にすることの大切さを伝えていきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。